

## ま え が き

地球温暖化や大気汚染、森林の減少など地球規模で深刻化している環境問題は、私たちの身近な環境に大きな影響を及ぼしつつあります。さらに、平成23年に発生した東日本大震災により、我が国におけるエネルギー政策のあり方や放射能汚染対策など、新たな課題にも直面しております。

これらは、自然の生態系に大きな影響を及ぼすだけでなく、私たち人類の生存基盤をも脅かす深刻な問題であり、早急な対策が求められています。

本県は、温暖な気候のもと、豊かな森林や水資源、多様な動植物など素晴らしい自然環境に恵まれるとともに、大気、水質などの生活環境も概ね良好な状況にありますが、温室効果ガスや廃棄物の排出抑制、微小粒子状物質への対応、生活排水対策、森林の整備等の課題も抱えております。

このような状況を踏まえ、県においては、平成23年3月に本県の環境行政の基本計画である「宮崎県環境計画」を策定し、「新しい『太陽と緑の国みやざき』の実現」という基本目標の下、本県の自然環境を守り、活用することで持続可能な社会を実現するための施策の方向性を示したところであります。

この目標を達成するために、県としましても様々な環境保全施策を一層推進することとしておりますが、県民一人ひとりのライフスタイルや社会経済システムそのものを環境に配慮したものに転換することなども求められます。

この白書は、平成24年度の本県における環境の状況と環境保全に関する施策の概要をとりまとめたものです。

本書が広く活用され、県民の皆様の環境問題に対する理解と認識が一層深まり、持続可能な社会の実現に向けた取組がさらに進むことを切に願っております。

平成25年12月

宮崎県知事 河野 俊嗣